

安曇野市男女共同参画推進審議会 会議概要

1	会議名	第1回 安曇野市男女共同参画推進審議会（第5期）
2	日時	平成28年7月14日 午後1時30分から午後3時15分まで
3	会場	安曇野市役所 本庁舎 全員協議会室
4	出席者	大日向委員、田中委員、松村委員、清原委員、伊藤委員、望月委員、増田委員、日比野委員、三澤委員、秋山委員、青木委員、降旗委員、宮下委員、湯澤委員、田村委員 (欠席委員) 二木委員、小林(栄)委員、小林(知)委員、小林(久)委員
5	担当課出席者	藤松部長、市川課長、高山課長補佐、山口係長
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 1人
8	会議概要作成年月日	平成28年7月25日

協 議 事 項 等

【協議事項】

- 1 開会
- 2 審議会委員委嘱（市長）
- 3 あいさつ（市長）
- 4 自己紹介
- 5 協議事項
 - (1) 会長、副会長の選出について
 - (2) 安曇野市の男女共同参画の推進について
 - (3) その他
- 6 その他

【会議概要】

- 5 (2) 安曇野市の男女共同参画の推進について

【要旨・主な意見】

事務局：ア 安曇野市男女共同参画推進体制について説明

委員：アンケートについて審議会で検討するが、半年の間に会がないがどう検討するか。

事務局：資料の3の中に前回の計画のアンケートの結果を記載した。5年前の内容と同じ質問にしなければ、変化がわからないものもある。逆に前回のアンケートとは時代が変わってきているため、新しい質問事項もあると思われる、その部分を皆様に見て頂き、次回までに意見を頂き、アンケートの結果を計画に生かしていきたい。

会長：他に意見はあるか。

委員：29年度までの目安について総括をいつやるか。

事務局：第2次の総括をして、達しているものとそうでないものを計画に反映させていきたい。

委員：それはいつやるか。

事務局：現行計画は29年度まで継続しているので、そこで総括する。

委員：途中経過の総括もするべきではないか。

事務局：これからのものに、今現在のものも参考にしながらする。まずは、アンケートの案を考えていただきたい。

委員：前回の総括はせずにアンケートを決めるわけなのか。

事務局：総括は3月に出す。毎年行っている調査の結果は資料にある。

会長：この質問には、次の説明があった方がいいかと思うので、次の説明をお願いしたい。
他の委員も、よろしいか。

事務局：イ 第2次安曇野市男女共同参画計画（H25～29年度）について説明

委員：意思決定の部分の女性の比率について、これは結果論。こういう目標で行うべきだというターゲット、テーマがあって、その結果である。私も区長をやっており、1名女性がいるが、これは積極的に女性を登用しようということではなく、適任かどうかを重視された結果である。共同参画を進めてほしいなどはそれぞれのセクションに要望があって、この審議会はテーマを発信するところであるべきだ。女性の登用は、結果論でこうなっている。実際には、こういう発信をしていて、結果こうなったということと、何にもなくてこういう状況ということとのギャップがある。その点は、いかがなものか。

会長：事務局から報告はあったことだが、前回の審議会のときから、色々と要望してきた。しかし、庁内の会議の段階で進まないことがあって数字には表れてこない部分もあるが、この会で色々なことを要望している。市長の意見をお聞きしたいという意見もあったが、そのような機会が得られずにいた。

委員：ならば、そのような機会を作ったらいいのではないか。

会長：前の委員さんも同じことを考えていて、お願いはしてきた。男女共同参画社会を築くことについては、少しずつは変わってきているが、思い切って変わることはなかなかできないでいる。引き続きやっていただいた委員は、おそらく歯がゆいのではないかと思う。今回の委員の考えを取り入れていきたい。事務局側はいかがか。

委員：先ほど私が言ったことに関して、各団体は色々と活動はしているが、活動の結果がどうなっているのかが、資料に記載されていない。一つひとつの活動を検討していくと、今現在の課題がわかる。活動結果を明記して欲しかった。記載は、昨年度の活動、今年度の実施計画という記述になっている。これではだめである。昨年度の活動と今年度の実施計画の間に、27年度の実施状況から、活動が何であったかを検証し明記するべきだ。

委員：先程の意見に付随して考えていることですが、男女共同参画は、地域の中からしっかり声を上げていただき、地域の中から活動をしていかないと、盛り上がらない。その点に関して、一つは区長等の選出にあたって、やはり地域でなり手がいない。そうすると、自薦、他薦ではなく順番やそういう流れで区長等が選出される。やはり一番大事なのは、地域の一番小さい単位の区だと思う。その中で地域の公民館長を女性にするなど、色々な役割を女性に振っていく、区長さんはじめ女性に役割を与えていくことが大事であり、区長も女性がやるようになると、地域の中が少しは変わってくるのかなと思う。私も副区長を2年務めたことがあるが、女性は、女性の視点で区の活動の中でできることがたくさんある。だが、数年たってくるとまた男性に戻っている状況が繰り返されている。たまに女性が出ているが、この傾向が続いている。やはりこのような点は、地域の一番小さい単位の区から考えていただけるような啓発をしてもらいたいと思っている。

会長：今の意見はもっともなことだと思うが、区の役員を決める環境が整わないことが現状だ。女性が区長、公民館長をできないはずがないと信じているが、安曇野市では区長に女性が出てきても、代表区長になるのは必ず男性になるのが現状。代表区長になって、市の

会議に上り詰めるという方はまだ見えていないので、公民館長も同じだと思う。副公民館長や、副区长は出ているが、その方がせつかく出たら区長になる環境づくりはどのようにしていけばいいのかということがこの審議会での一番のテーマかなと思うが、皆さんいかがか。

委員：区の専門部会では、女性は台頭してきている。そういうことの積み重ねで、区長になるということが理想。今の区長会においては、男女共同参画について取り組みや啓発はない。このことは、標語がある他の週間があるが、何かの権限でできればいいかなと思う。確かに、女性にも活発にやって頂いている。しかし女性の皆さんにも遠慮するところがあった。まだ女性が遠慮する風潮が残っている。ただ、変わってきていることは事実だ。急激的に変わっていくことは無理な点があるが、それぞれ人権を尊重してやっていくことは非常にいいことだ。

委員：私は、具体的な取り組みが知りたい。このように会議を開いたり、資料を作成しても進まない。女性の登用をお願いするだけでは何も変わらない。区長会、研修会にて進んでいるところの区長に話をして頂いたり、区長会の中で企画していかないと進まない。また、我々は審議会の委員であるのだから、地区へ帰ったときにそのような話や提案をしていく等が大事なことだと思う。区長等の役員の選出については、女性にすぐ区長を任せるのではなく、区の中に役割があるのだから、区長の仕事ができるような役割を担ってもらう段階にある。先日、男女共同参画フォーラムがあったが、ワークショップの中で、やはり男性もいけないと思った。「女性がもっと積極的になるべきだ」という考えを男性が持っているのでは進まない。男性側も、女性側の意見を聴く視点で進めていかないと、地区の中での共同参画は進んでいかない。

委員：女性区長のお話があったが、私は、協議会の会長をやっている。この役目を務められるのは、要職にあった男性の委員の方がフォローをして下さるからであり、区長も、ある程度のマニュアルはできてきているため、就任してからその立場で成長し、学んでいくという方向性でないと、いつまで経っても女性は出てこない。

会長：今、男性側の話と、女性側の話が出た。確かに女性側からみれば、出来そうな人はいても、男性が多い世界ではなかなか手が挙げられない。一步引いて生きるよう植えつけられ、このような環境に育てられてきた女性にはなかなか就任の承諾をできない部分がある。そこで男性社会を構築している男性が、背中を押してくれれば就任できるのではないかと思う。それは男性、女性の生き方だと思うので、その点について、皆さんの意見を聴かせていただければと思う。

委員：この審議会は、色々な組織の代表の方がお見えになっているのだが、私は以前、改めて審議会という名称を使って区長会等、色々な組織の方へ意見の主要な部分を申し上げてきた。1、2年間、どういう風に取り組んできたか結果報告をお願いすればいいと思う。審議会という会の名称で区長会の皆様に活動内容はこのように取り組んでいただいたという回答を求めるような働きかけができればよい。

会長：審議会は、市からこのことを審議してくださいというものをいただいて、それに対して審議するというのが形である。その中には、せつかく委員として出てきて頂いているので、審議だけでなく、日常の中から、こういうことをしたらもっといいのではないかと行って頂くのはとても大事なことだと思うので、色んな話をして頂くのは大切である。

事務局からの説明に対して、色々な意見が出たので、これを市の方で検討して頂いて、お考えを頂ければと思うが、いかがか。

一 同：了解

事務局：ウ 第3次安曇野市男女共同参画計画（H30～34年度）策定に向けたアンケートについて説明。

事務局：委員の方にはアンケートの内容から審議して頂く。そのため、次回までに意見を提出するよう依頼。

会 長：次回の審議会までに、我々は大きな宿題をいただいた。以前のアンケート内容を読ませて頂くと時代が変わっている。次回のアンケートはどのようにしたらいいか検討したいということである。

委 員：主旨には賛成。期限を定めて頂いた方がいい。

部 長：検証してアンケートを作成していきたいので、次の審議会までにもう一度、話し合いが必要なのではないか。

会 長：回数が増えてしまっても問題はないか。

委 員：きちんと対応していただけるのであれば、賛成。

事務局：今後の予定案を説明（回数はそのまま2回目の計画を前倒しして行うと説明）

会 長：本日配布された計画の通りではないが、それでもよいか。

一 同：了解

事務局：8月末を目安として委員からアンケートへの意見を募集する。

アンケートは、書式を用意する。アンケートは、代表となっている団体としての意見のほか、一個人としての意見でも可能。8月中に頂いたご意見は、次回審議会に提出する事務局案に反映。9月以後に頂いたご意見は、直接審議して頂く。

会 長：その他について、委員・事務局から何かあるか。

一 同：なし

4 その他

事務局：次回は、10月に実施。

アンケートに関する意見は8月までだが、期限以降も、次回まで随時受け付ける。